

5月 日, 1966

様

新緑の候を迎え皆様には益々御健勝のことと拝察します。御存じのよ
うに、私共は皆様の御協力のもとで、今から4年前、京都嵯峨野において
才1回科学者京都会議を開いて以来、広島竹原における才2回会議、およ
び北軽井沢あるいは鎌倉において度々勉強会を催して参りました。

さて内外の情勢は、最近、ますます楽観を許さぬ危険な兆候を示し
てきているように思われます。私共は昨年より度々継続委員会を開き、
今年は下記の主題をめぐって、才3回の会議を東京で開くことに決めまし
た。プログラムその他詳細はいつれ御連絡するつもりであります。御多用
中恐縮ですが、万障お繰り合せの上、御参加下さいますようお願い申上げ
ます。なお、御参加を呼びかけます方々の御名前は下記の通りでございます。
(アイウエオ順、敬称略) 有山兼孝, 江上不二夫, 江口朴郎,
~~土原淳道~~, 大内兵衛, 大河内一男, 大佛次郎, 貝塚茂樹, 久野収, 桑原武夫,
茅誠司, 小谷正雄, 坂本義和, 末川博, 佐久間澄, 田島英三, 田中慎次郎,
谷川徹三, 恒藤恭, 都留重人, 南原繁, 野上茂吉郎, 福島要一, 丸山真男,
三宅泰雄, 宮沢俊義, 我妻栄。(豊田利幸)

1° 期日: 6月17日(金), 18日(土), 19日(日) の3日間
(10:00-18:00) (10:00-18:00) (10:00-13:00)

2° 場所: 東京, 神田, 学士会館

3° 主題: (a) 核兵器体系が最近どのように巨大化し、危険性を増して
きたか。
(b) 核抑止政策の矛盾が、戦術核兵器の普及によってどのよ
うにあらわれてきているか。
(c) 平和の論理を確立するための政治理念の探求。

科学者京都会議継続委員会

湯川秀樹
朝永辰一郎
坂田昌一

追記: 御都合は同封の葉書又は電話で5月末日までに
才3回科学者京都会議事務局(東京都豊島区西池袋4-8-8 豊田利幸カ)
にお知らせ下さいませに存じます。 電話 983-7601

SEKIREI A4 NO.21

c091-007-001-007